

パキタと探検!

7/10 sat

くしろいわ
びじゅつかん
キャラクター

→ 9/5 sun



ガラスと不思議

ヴェネチアン・ガラスと絵画の世界

- 休館日 8/9を除く月曜日
- 開館時間 10:00-17:00
- 観覧料 一般 800(600)円 (大学生以下無料)

*()内は前売券、および10名以上の団体料金
 *身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方
 および付き添いの方は無料

主催 / 釧路市民文化展実行委員会、釧路市立美術館、北海道新聞釧路支社
 後援 / NHK 釧路放送局、FM くしろ、(一財) 釧路市民文化振興財団
 協賛 / アートギャラリー協会 企画協力 / 笠間日動美術館

釧路市立美術館 TEL 0154-42-6116
 Kushiro city Museum of Art FAX 0154-41-8182
 〒085-0836 釧路市幣舞町4-28

前売券販売所 (7月9日まで)
 セブンチケット、MOOガイド (釧路)、コーチャンフォー釧路店、コーチャンフォー釧路文化ホール、
 釧路市生涯学習センター、くしろ演劇みたい会、釧路市民活動センター (わっと)



1. 小杉小二郎《ムラノの朝》2009年
2. 奥谷博《鯉》2009年
3. 安元亮祐《風》2000年
4. 佐藤泰生《猫の中のベニス》2009年

割引券
 本チラシ持参の方
 2名まで100円引

展覧会のおひざこ



- 日本の画家 × イタリアの職人のコラボレーション
- ガラス作品とともに、画家の絵画も展示
- ペキタと一緒に、ガラスの学習

ガラスって何からできてるの？

どうやって色をつけてるの？



私たちの身近に存在するガラスの、素朴な疑問を、美術館キャラクターペキタとともに、学びます。



日本の第一線で活躍する日本の画家たちがデザインし、ヴェネツィアの職人たちが制作を手がけたユニークなガラス作品をご紹介します。ガラス作品は、1993年から始まった日動画廊のプロジェクトによって生まれました。仕事を委嘱された画家たちは、自身の作風を反映した原画を描き、ムラノ島の工房ピノッチオ・アート・イン・グラス (Pinocchio Art in Glass) の職人たちが、長年培ってきた技術とセンスを注いで完成させました。日本の画家たちの感性とイタリアの伝統的な工芸技術が織りなす、類まれなる作品をお楽しみいただければ幸いです。

1. 稲谷幸二《愛うつろい》1987年
2. 島田章三《ガラスをつくる人》1994年
3. 金森幸司《ライフ「メロを待つ」》1993年
4. 田村能里子《駝駝の背骨》2009年
5. 島田祐子《コンポジションII (花血)》2009年
6. 大沼映夫《大和思考 (原画)》1994年
7. 大沼映夫《大和思考》1994年



展覧会関連事業のお知らせ

親子講座

サンキャッチャーをつくろう！

太陽の光を集めるガラスの飾りを作ります。

日時：2021年8月8日(日)

10:00 - 11:00

場所：まほほっと舞舞地下工芸スタジオB

対象：小学校1～2年生の親子10組

費用：材料費として500円

講師：美術館スタッフ

サンドブラストで、オリジナルコップをつくろう！

ガラスのコップにすりガラスのデザインをします。

日時：2021年8月8日(日)

13:00 - 14:00

場所：まほほっと舞舞地下工芸スタジオB

対象：小学校3年生以上 15名

費用：材料費として500円

講師：美術館スタッフ

事前申し込み制：申し込み多数の場合は、抽選。

7月25日までお電話(0154-42-6116)をいただくか、美術館HPの申し込みフォームまたはE-mail(sh-artmuseum@city.kushiro.ig.jp)に必要事項をご記入ください。

【必要事項】 イベント名、参加者氏名、学校名、学年、参加希望人数、ご連絡先(E-mailアドレスか電話番号)

交通のご案内

- (徒歩の場合)
●JR 釧路駅から徒歩20分(1.6km)
(タクシーをご利用の場合)
●JR 釧路駅からタクシーで約5分
(バスをご利用の場合)
●くしろバス停留所「釧路三慈会病院」
下車徒歩約1分
(釧路空港からバスをご利用の場合)
●空港前停留所から阿寒バスで約45分
MOO バスタミナル下車徒歩約5分
(駐車場の案内)
●釧路市生涯学習センターの駐車場をご利用いただけます。
●駐車無料 ●第一駐車場 103台
●第二駐車場 141台
●身障者用スペース 6台



釧路市立美術館
Kushiro city Museum of Art

割引券

本チラシ持参の方
2名まで100円引